

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)  
令和4年度 研修ニーズアンケート  
教員・職員

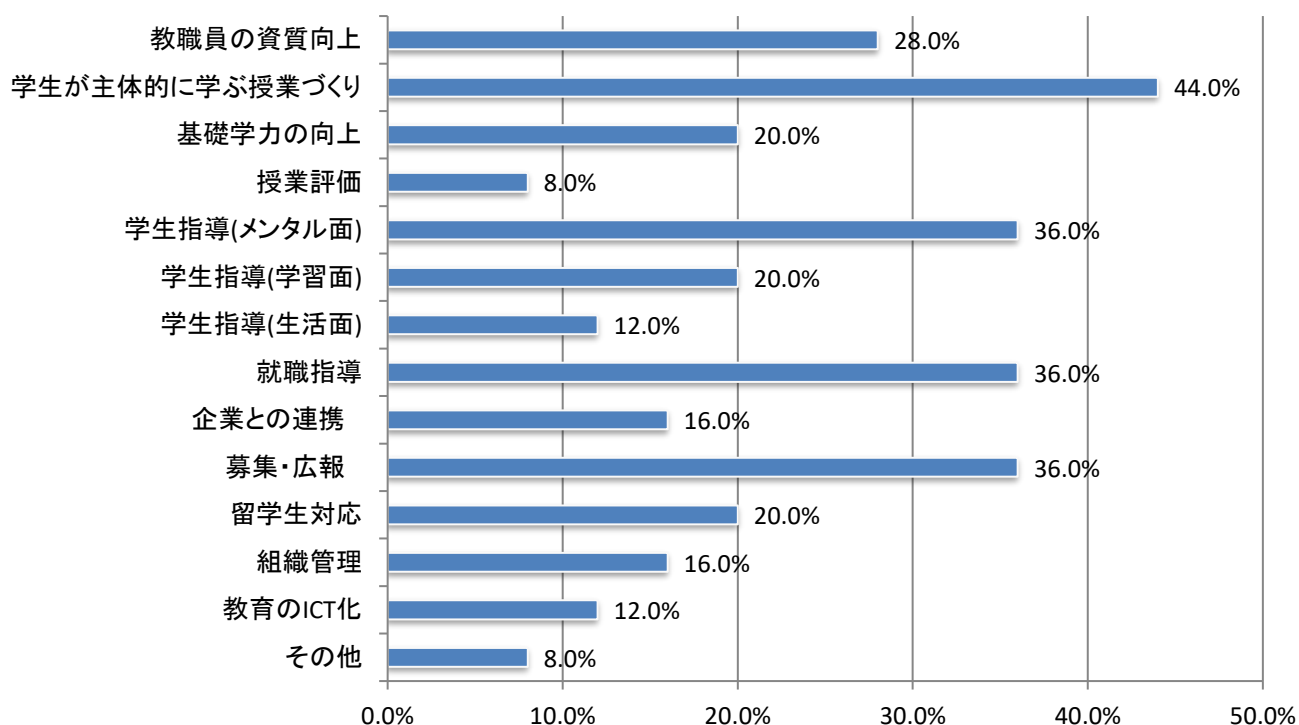
- 調査時期  
令和4年4月8日～令和4年4月26日
- 発送数 70 件(校)
- 回答数 25 件
- 協力校数 3 校
- 回答率 4.3 %

## 令和4年度 研修ニーズアンケート【教員・職員】

担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているものに○を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	教職員の資質向上	7	28.0%
2	学生が主体的に学ぶ授業づくり	11	44.0%
3	基礎学力の向上	5	20.0%
4	授業評価	2	8.0%
5	学生指導(メンタル面)	9	36.0%
6	学生指導(学習面)	5	20.0%
7	学生指導(生活面)	3	12.0%
8	就職指導	9	36.0%
9	企業との連携	4	16.0%
10	募集・広報	9	36.0%
11	留学生対応	5	20.0%
12	組織管理	4	16.0%
13	教育のICT化	3	12.0%
14	その他	2	8.0%
	合計	78	-

※%の母数は回答者数(=25)、複数回答



### 【その他の回答】

◆募集・広報においては、自身の部署が行っている案件であるため、withコロナに入り、広報業務をコロナ前に完全に戻すことは難しいことを踏まえ、戦略の立て直しが急務であると考えます。

◆教育のICT化においては、コンピュータ分野のパイオニアとして存在してきた日本電子専門学校として、他校に先駆けた教育方針としてICT化は必然である早急に取り組むべき課題であると感じています。

◆昨年の募集状況が芳しくなかったため、学生の主体性に関しては、ただでさえ近年は主体性の向上が学科でも課題ではあったが、コロナ禍で学生間の横のつながりが薄れ、拍車がかかった感じを受けているため。

問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

区分	研修テーマ	内容(概略で結構です)	形式	対象	日数	実施時期
教職員の 資質向上	学生主体教育事例・効果について	上記内容を実践している学校やその効果を発表	セミナー	教員, 職員, 管理職	半日(1時間~4時間程度)	適宜
教職員の 資質向上	オンライン授業に関する研修	オンライン授業のメリットを生かした授業のノウハウについて	セミナー	教員	半日(1時間~4時間程度)	
教職員の 資質向上	コミュニケーションの方法	対話のきっかけの作り方	セミナー	教員	半日(1時間~4時間程度)	2月ころ
教職員の 資質向上	アクティブラーニングを取り入れた授業	AL指数、R80について	セミナー	教員	半日(1時間~4時間程度)	
教職員の 資質向上	CG制作におけるポストプロダクション業務について	CG制作の最後のフィニッシュ作業として、ポストプロダクション(合成、エフェクト追加、カラーグレーディング等)の重要性を確認したい	講義	教員	1日(5時間~8時間程度)	今すぐにも
教職員の 資質向上	学生の多様性に伴う対応についての研修	学生の多様性のあり方とそれに伴うクラスまとめ方、集団行動をしないといけない時の運用方法などについて	講義	教員, 職員, 管理職	1日(5時間~8時間程度)	
教職員の 資質向上	リモート授業に関するテーマ	効率的なリモート授業法、リモート授業における学生の集中力の維持方法等	実習	教員	1日(5時間~8時間程度)	
教職員の 資質向上	教職員の質の向上	意識向上セミナー	セミナー	教員, 職員, 管理職	1日(5時間~8時間程度)	9月
授業評価	授業評価	自身が実施した授業(教育内容、指導方法等)が適切であったか、教員がセルフチェックし改善に向けた対応ができるようにするための研修	セミナー	教員	半日(1時間~4時間程度)	6月(学生の夏季休暇期間)、1月(学生の冬季休暇期)
学生指導 (学習面)	幅広い学生個性への指導方法	単位制の高校卒業で対面授業のなかった学生への登校の重要性や学習障害を持つ学生など個々の指導方法のコツや気を付ける点	講義+演習	教員, 職員	1日(5時間~8時間程度)	教員の授業の少ない時期
学生指導 (学習面) 企業との連携	企業連携と学生指導に関して	実際の企業連携事例や、企業とのつながり方、メリット、学生の動かし方や、教育成果など	講義	教員, 管理職	半日(1時間~4時間程度)	
学生指導 (メンタル面)	学生のメンタル	学習が継続できなくなってしまう学生への対応	セミナー	教員	半日(1時間~4時間程度)	
学生指導 (メンタル面)	学生の学習意欲向上	学習面、メンタル面で学生のモチベーションを向上させるための手法等	セミナー	教員	1日(5時間~8時間程度)	3、4月以外

区分	研修テーマ	内容(概略で結構です)	形式	対象	日数	実施時期
就職指導	クリエイター分野の就職活動について	就職活動において作品提出が必要となるクリエイター分野学生の早期就活準備について	セミナー	教員, 職員	半日(1時間~4時間程度)	
就職指導	就職指導法について	就職指導で抑えるべきポイントの説明	セミナー	職員	1日(5時間~8時間程度)	7~8月
就職指導	他校の取り組み	退学防止・留学生就職支援	セミナー	教員, 職員, 管理職, 経営者	半日(1時間~4時間程度)	
募集・広報	学生の質について	入学募集前より学生の特性を見極めるためにはどうすればいいのか。	講義	職員	半日(1時間~4時間程度)	
留学生対応	留学生対策セミナー	留学生対策における様々な問題をディスカッション形式で討論できるセミナー	セミナー	職員, 管理職	1日(5時間~8時間程度)	9月
組織管理	管理職者研修	組織経営を円滑に行う技能・知識が得られる内容	実習	管理職	2日間	夏季休暇中
教育のICT化	最新の技術動向	A I やその他最新技術の学習法	セミナー	教員	半日(1時間~4時間程度)	9月
教育のICT化	RPA、ノーコード開発等を用いた業務自動化に関する研修	企業でも注目されているRPAやノーコード開発等を用い、プログラミングが苦手な学生であってもある程度のシステムが開発できるような内容の習得	実習	教員	1日(5時間~8時間程度)	8月または3月(夏休み期間または春休み期間)
教育のICT化	専門学校における募集と教育のICT化	募集と教育のそれぞれの観点からICT化(またはDX化)についての活用事例や導入意義を学ぶ研修。	セミナー	教員, 職員, 管理職, 経営者	半日(1時間~4時間程度)	9月~10月頃
教育のICT化	業務のDX化	授業以外の業務をDX化するノウハウ	実習	教員	1日(5時間~8時間程度)	

対面・研修会場で実施する研修会について、以下設問にお答えください。

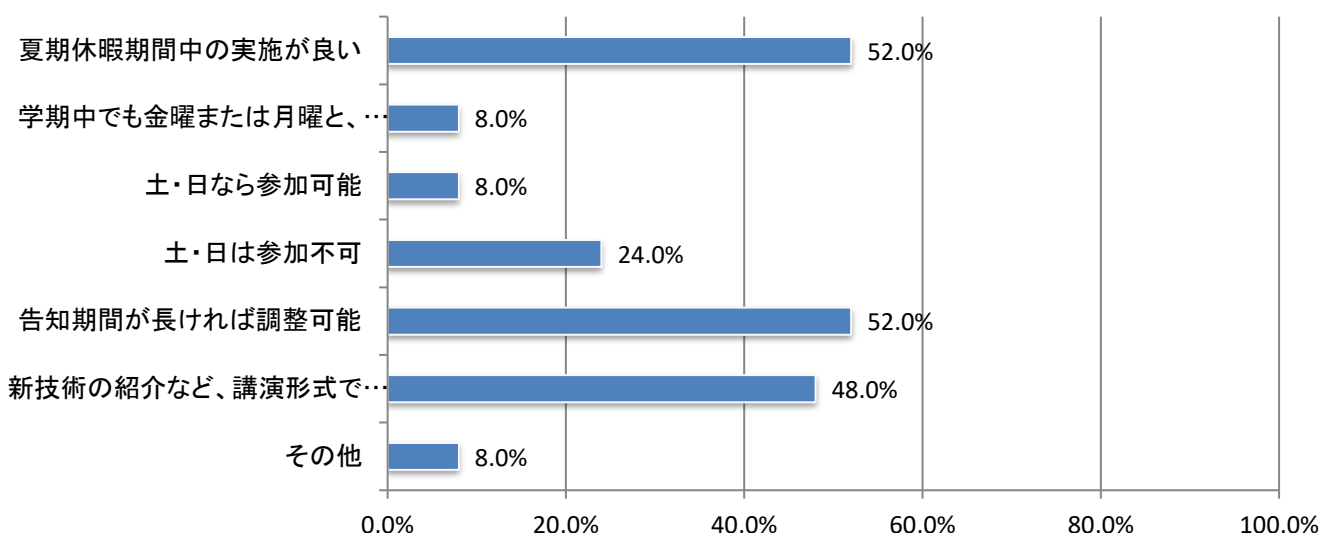
パソコン等を用いた演習や、グループディスカッションを伴う研修は、2～3日を要するものが多くなります。実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等をお書き添えください。

#### ・研修時期について

No	項目	回答	%
1	夏期休暇期間中の実施が良い	13	52.0%
2	学期中でも金曜または月曜と、土・日を組み合わせた開催であれば可	2	8.0%
3	土・日なら参加可能	2	8.0%
4	土・日は参加不可	6	24.0%
5	告知期間が長ければ調整可能	13	52.0%
6	新技術の紹介など、講演形式で半日程度のセミナーなら参加可能	12	48.0%
7	その他	2	8.0%
合計		50	-

※%の母数は回答者数(=25)、複数回答

### 研修時期について



#### ◆その他

2月中旬

#### 夏期休暇期間

7/22～8/23

7月下旬～8月下旬

7/26～8/31

8月8日～8月21日

7月24日～9月5日

7月24日～9月5日

7月20日～9月24日

8/12～9/19(5/12現時点)

8/1～9/7

不定期ですが、概ね9月半ばから後半

8月下旬～9月末

8月

8/2～8/20

7月中旬～8月中旬

8月初旬から9月初旬

8月第1週～第3週

7月22日～8月31日

7月24日～8月23日

7月20日ころ～8月15日ころ

8月中旬～9月中旬

8月1日～12日

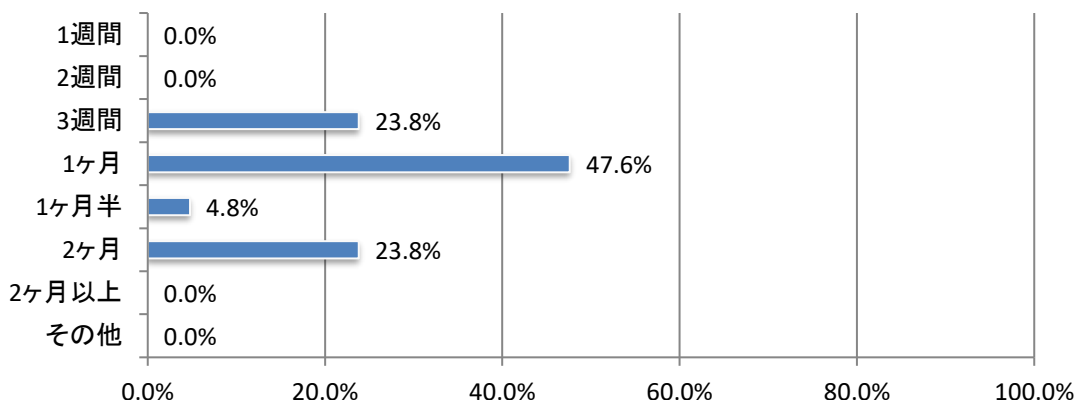
7月下旬から8月下旬まで

7/20～8/31

## ・研修の告知期間について

No	項目	回答	%
1	1週間	0	0.0%
2	2週間	0	0.0%
3	3週間	5	23.8%
4	1ヶ月	10	47.6%
5	1ヶ月半	1	4.8%
6	2ヶ月	5	23.8%
7	2ヶ月以上	0	0.0%
7	その他	0	0.0%
合計		21	-

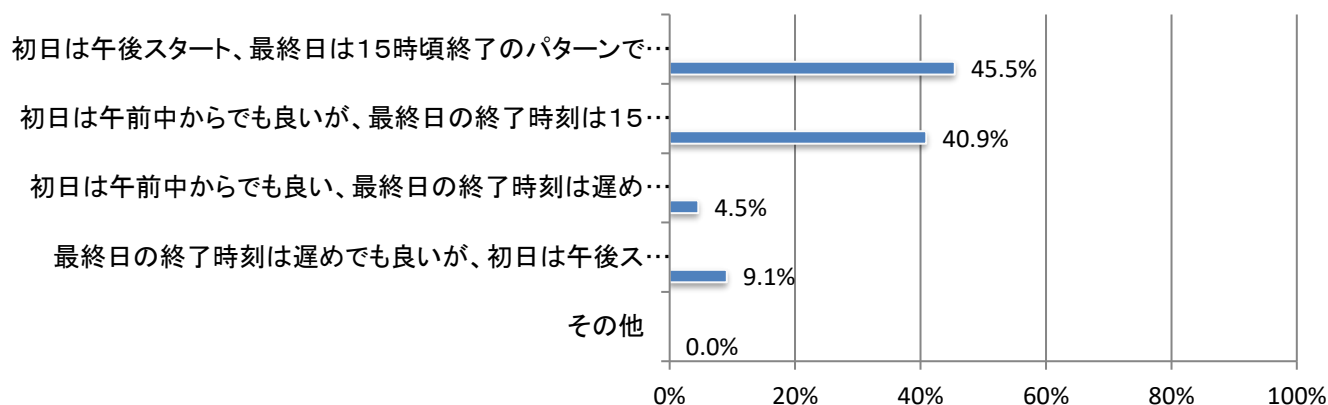
## 研修の告知期間について



## 日程について

S.No	項目	回答	%
1	初日は午後スタート、最終日は15時頃終了のパターンでよい	10	45.5%
2	初日は午前中からでも良いが、最終日の終了時刻は15時頃終了が	9	40.9%
3	初日は午前中からでも良い、最終日の終了時刻は遅めでも良い	1	4.5%
4	最終日の終了時刻は遅めでも良いが、初日は午後スタートが良い	2	9.1%
5	その他	0	0.0%
合計		22	100.0%

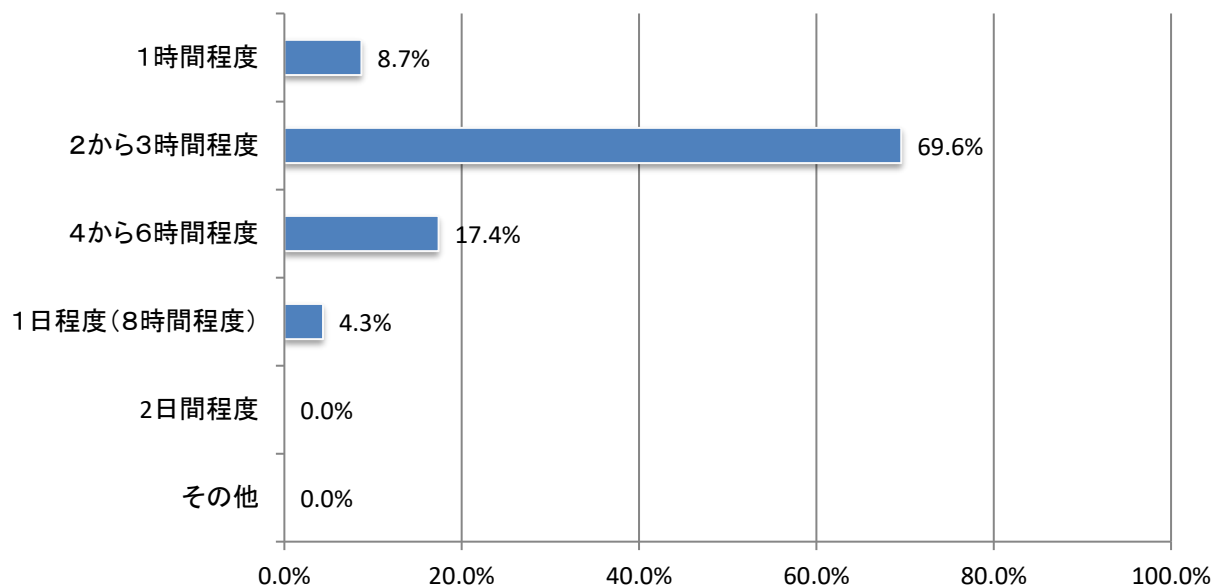
## 日程について



## オンラインの研修会について

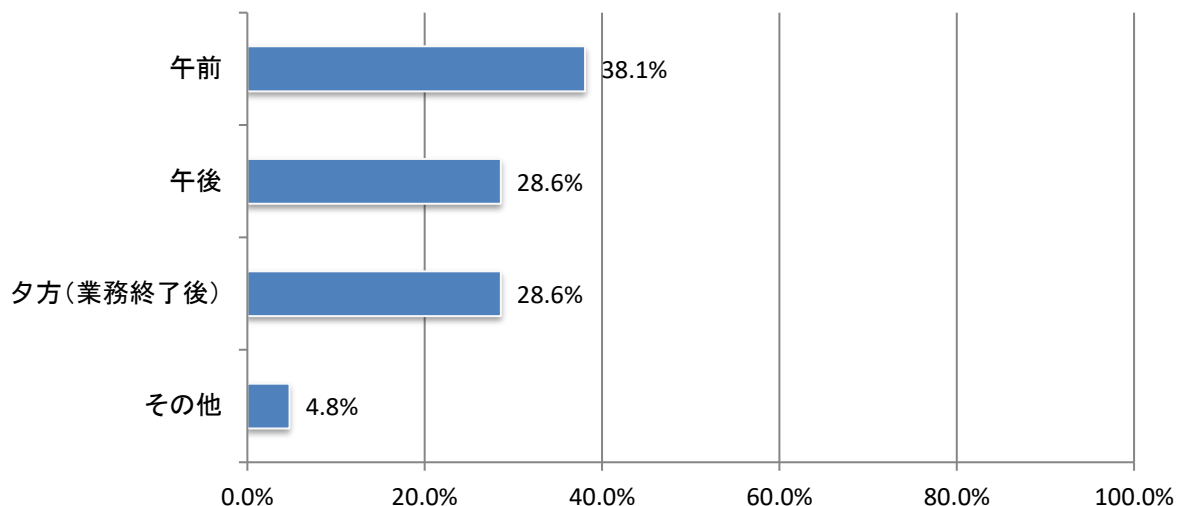
### ・オンライン研修会の時間は、1回あたりどの程度の時間が良いと思いますか

No	項目	回答	%
1	1時間程度	2	8.7%
2	2から3時間程度	16	69.6%
3	4から6時間程度	4	17.4%
4	1日程度(8時間程度)	1	4.3%
5	2日間程度	0	0.0%
6	その他	0	0.0%
合計		23	100.0%



### ・リアルタイムでオンライン研修に参加する場合、受講に都合のよい時間はありますか

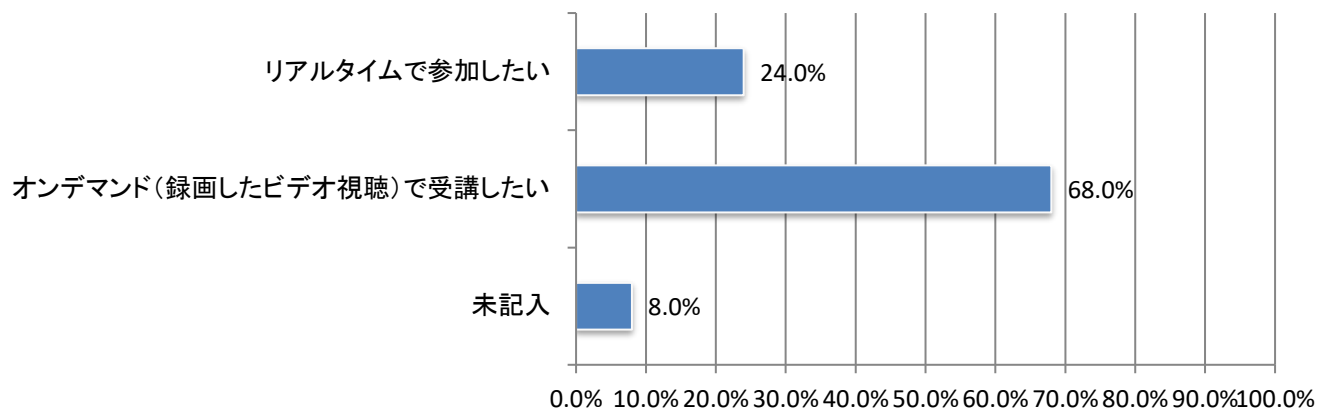
No	項目	回答	%
1	午前	8	38.1%
2	午後	6	28.6%
3	夕方(業務終了後)	6	28.6%
4	その他	1	4.8%
合計		21	100.0%



その他:開催日により異なる

## ・オンライン研修会の受講形態

No	項目	回答	%
1	リアルタイムで参加したい	6	24.0%
2	オンデマンド(録画したビデオ視聴)で受講したい	17	68.0%
3	未記入	2	8.0%
合計		25	100.0%



## 理由

### ・リアルタイムで参加したい

集中力が保たれるため

気持ちの問題。

その場で質問等もできるのでリアルタイムがよい

講師に直接質問等ができるのでリアルタイムが良いが、「リアルタイムで実施、業務都合で参加できない場合はオンデマンドも可」であると受講しやすいと思う。

### ・オンデマンド(録画したビデオ視聴)で受講したい

研修参加時間の調整が難しい場合が想定できるため

時間の融通がききやすい点

リアルタイムの場合、授業日やその他予定と被った場合、参加できないため。オンデマンドであれば日程調整が行いやすい。

内容にもよりますが、いつでも視聴できるのは助かります。

時間に制限されずに研修やセミナーが受けられるため。

時間制約のある人には受講しやすいため

急な予定が入っても後から確認できるため

オンライン研修はリアルタイムで視聴し続けることができない場合が起こり得るため。機器の故障やネット回線の不具合、ノイズが多いなど。

時間調整が難しい場合にオンデマンドだったら隙間時間に視聴できるため

リアルタイムの場合、参加できるかどうか不確定なため

時間的に調整しやすい。



コロナ禍における休校や遠隔授業への対応について、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

オンデマンド(録画したビデオ視聴)で受講したい

リアルタイムで参加したい

学生に対して行う、リアルイベントの開催中止

学生の習得度を授業中に可視化しづらく、授業進捗のスピード感を図りづらい

オンライン授業が週に数回実施されている。教職員や学生同士のコミュニケーションがうまく取れていない

在宅勤務が増え、コミュニケーション不足の低下が課題。

学生がマスクをしているので、名前と顔が一致しづらい

学生個々で使っているオンライン環境がバラバラ、慣れていない学生と慣れていない学生が混在していて困る。

オンライン授業における学生の学習モチベーションの維持が難しいと感じています。

公欠にした場合の補講

対面授業が少ないため、学生の状況が把握しづらい。

オンライン授業でのクラス合同授業で学生人数が多すぎて個々の学生の状況がつかめない(学科の教員人数により偏りがある)

多人数に対してのオンライン授業の難しさ。目が行き届かなく、学習効果が低くなってしまふ。

対面授業が減り、他学生の様子を見る機会が減ったことによる意欲低下

GIGAスクール構想の前倒し、遠隔教育等 コロナ禍において急速に進む小・中・高等学校での教育のICT化に伴う専門学校としての今後の対応について、現在の取組状況、抱えている問題や課題等をお書きください。

GIGAスクール構想で学んできた学生に対して、専門学校で取り組むべき内容の見直しが必要

授業内容の前倒しによって、情報処理科でも内容を前倒しすべきか、それとも初心者を対象としてある程度小～高校でもやっている内容を再度行うべきか悩んでいる

ICT可は賛成ですが、利用者にそのリスクや悪用してしまう事について意識が低く、情報セキュリティ等の教育が重要かと思えます。

高専連携等でICT化を支援する側(教員は対応可能だが)であるべきなのに、学校組織がICT化が不十分な状況にある。

専門学校教育のICT化も図っていく必要があるがこれからの課題である

まだわからない

職業実践専門課程の設置・運営について、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

所属している学科のクラスが多いため、職業実践を頼める方があまりいない

本件は教育側の課題となるため、回答は控えさせていただきます。

特にありません

前述の他に、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。(どんな些細なことでも結構です。)

スペシャリストが多く、ジェネラリストが少ない

オンライン授業や、オンデマンド授業にしたいけども今ある設備では中途半端なものになってしまう。ある程度の設備投資が必要になってくるが難しい。

在宅勤務中の教職員と、より気軽に、かつ精度の高いミーティングができる環境を構築したい。